

幼稚園の效果に 對する質問に答ふ

湘 南 生

雜誌が質疑應答欄を設けて居るのは本誌に限らぬが併し本誌愛讀諸君が寄せらるゝ様な切實なるものは定めし少ないことであらうと思ふのである。夫れで朝幼稚園に出勤して机上を見ると見慣れぬ手蹟の封書があるときは大抵質問であると云ふことが判るので早急な仕事を控へて居らぬときは先づ第一に是手から讀み始めるが予のあきまりである。そして出来る丈他の用事を繰り合せて其返書を認めるのが我輩の一つの樂しみである。惟ふに態々筆を執つて質問を試みられる其人の心中を考へたら是位にしても或はまだ親切が足りないかも知れぬ。併し時としては溜まりくた用事に逐はれて日も是足らぬと云ふ様な時には往々一讀した儘一週間位其儘で置くことがないでもない。こんな時には心中頗る安からずで二六時中氣に掛つて仕方がないもので此邊の苦心は或は讀者にはお

判りにならぬも知れぬ。閑話休題として先月の廿四日のをであつた。予は例の如く朝七時半頃幼稚園へ出勤して机上を見ると常にもなく一本の郵便もない。先づ今日は一と休みかと思ふ間もあらせず小使はドアを押して一と握りの郵便物を置いて行つた。中には目下募集中の手工圖形豫約の申込はがきが四五外に封書が五六本、と振替貯金課よりの郵便物が一包あつた。先づはがきは番號をつけて豫定の袋の中へ投じ振換局の郵送物は會計の机上に置いて扱て是からが封書の點檢だ。六本ばかりの封書四本は會費の郵送で會計係の擔任であるが後の二本は質問書であつた。其中の一本は某西洋婦人よりの來書で一本は即ち次に掲ぐる近藤氏の質問書である。

拜啓毎度御面倒なる御事御伺申上恐入候得共別紙の表につき是非御高教にあづかり度只管御願いたし候切當園の方針は保育料を極めて廉にして出来る丈け家庭のひくきものまでを收容せん目的故他の園に異なり生活程度中の下位のものまでまじり居り申候右の次第故幼兒數は



年々貳百名以上ののぼり申候それを五組に分け
 七人(無資格五人)にて保育いたし居り申候此頃或
 る必要より三年以上並に貳年以上の在園者の學
 校成績相調へ申候處學業操行共別紙の通りに
 是あり候學業の極めて劣等なるものなき點はい
 さ、か心を安むる處に有之候やうなれ共操行に
 於て上が割合に少なきと學業に於て優等者が澤
 山なきとの點にいたりては慚愧の至りに是あり
 私共の保育法の何れかの點に誤りあるが故にこ
 そならんと只いたづらに打寄り憂悶いたし居り
 申候よつて誠に御取かしき次第ながら調べのま
 ゝ差し出し申候間何とぞとく御覽下され候
 上厳しき御批評と且保育の誤りと御認めめ點と
 を細かに御示し御教しへ玉はり度右懇願いたし
 申候敬具

九月二十二日

濱松幼稚園保母兼園長

近藤 しげ

フレイベル會幹事御中

其切實にして熱誠なる右の質問の如きは誠に稀で

あらうと思ふ。殊に自己の不敏を白狀して迄の研
 究的進取的態度には我輩から感嘆せしめられ
 たのである。且又此の如き質問は現時幼稚園の業
 務に手づさはる人の何人も抱懐せる疑問であつた
 然も之を口にして其疑點を暴露せんことは何とな
 く憚る所あるが如くに感ぜられて多くの人の躊躇
 し惑ひつゝある所のものである。然るに此憚りあ
 るが如く面はよく見ゆる所の質問を遠慮する所な
 く逡巡する所なく發表せられた近藤氏の勇氣には
 只管感服せざるを得ない。そこで我輩は斯る有益
 なる質問を單に本會對近藤氏の狭き範圍内に於て
 のみ解決する處なく廣く會員諸君一般の御参考
 に供するのが極めて至當の事であらうと思ふので
 倉惶筆を執つて思ふ所を茲に述べた次第である。
 同氏手簡中の別表は頗る興味あるものではあるが
 長篇のもので限りある誌上に載せることの出來な
 いのは残念である。

切て近藤氏の質問する處に因ると操行に於ても學
 業に於ても共に優等者が比較的に少ないと云ふこ
 とが大に不審とせらるゝ所らしいが我輩の見る所

に因ると是は強ち不審とも思へないのである。元來幼稚園はフレーベルの教育主義を根據として行動して居るから、従つて幼児の自發活動を重んじ妄りに之を制限しない。然るに小學校に於ては今尚劃一主義が彌漫して居つて教師は幼兒を木偶的に器械的に自己の意志に盲從せしめ様とする傾が絶えない。従つて幼稚園に於て教師を友達と心得て活潑に行働せる幼兒が小學校に入りては何となく落ちつかぬ動物の様に見えて操行上の評語の價値をふとすりは當然ではあるまいか。是は恐くは保姆自身が幼稚園より引き續きて小學校へ受持を繼續して行つても矢張り同様の感があるに違ひないのである。何故と云ふに現在我國に於ける一般の保育主義には元來二個の矛盾したる思想があるからである。即ち一はフレーベルの主張したる自發活動主義で一は即ち幼兒をふとなしく優雅のものに躑け様とする日本固有の保育思想である。此二つの主義は到底兩立することが出来るものでない。一方を盛んにすれば一方は大に讓歩しなければならぬものである。然るに我國一般の

幼稚園では唯徒らに之を兩立せしめ様として居るし小學校に於ても然りである。従つて此點に於て幼稚園出身者が失敗するのは固より當然のこと、云はねばならぬ。尤も近藤氏の所謂操行の上等ならざる。點が記者の認めたる點に非ずして他に存するならば其別に研究の價値があるであらうけれど今は別段に内容の説明がないから一般に認められて居るものを指して居るものと見て論ずるのである。

切て又學業の成績に優等者が少ないと云ふことであるが是は明かに現在の保育法の欠點であると云はねばならぬ。實際何處の幼稚園の出身者にも學業の優等者は比較的少ないのである。併し是も又不思議とするには餘りに明瞭な問題である。何故と云ふに從來否現在に於ても幼稚園の保育法は一般に餘りに學校的であり一齊的であつて幼兒を平凡に／＼にとこそ教育はすれ決して勝れる様もぬける様にとは教育して居ないのである。是は何處の幼稚園に行つても明かに見得らるゝ事實で心ある人が少し注意して觀察すれば直に了解出来るこ

とである。既に平凡に〜と教育して居つたとすれば其等の幼児が小學校に於て非凡の成績を表現はさぬと云ふことは別段怪しむ可きことではな
い。故に若し小學校に於ける成績を優等ならしむることが必要ならば幼稚園は其積りで保育しなければならぬ。然すには現在の保育法は餘りに窮屈であるから大に改良を要すと云はねばならぬ。之を要するに近藤氏の質問、不審は如何にも不審の様であるが併し現在の保育方法よりすれば當然の結果で別段怪しむ可きものではないのである。是が若し一般の幼稚園の成績が小學校に於て何れも優等な成績を表現はして居るのに獨り近藤氏の幼稚園出身者のみが他に比して劣つて居ると云ふのならば大に近藤氏の技量を疑はねばならず其保育方は當然誤りあるものと云はねばならぬが併し從來に於ける幼稚園出身者の成績の思はしくないのは全國に於けるものが皆そをなので吾人の眼よりは寧ろ當然の様に見えるのであるから別段怪しむ可きものではないのである。

吾人は思ふ。若し現在の如き保育法丈けで子供が大なる發達をするものならば教育は實に易々たるもので教育者は強ち頭を痛めて教育學の研究をする必要はないのであると、斯く云はば現在の幼稚園は如何に處置せらる可きか現在の保育法と現在の成績とに満足して何等の改良を施す必要なきか、或は是を改良して新なる發展を試む可きか否やの問題は次に來る可き疑問であらう。是に關しては吾人は別途に保育意見を有するものである。吾人は此新なる保育思想（否正直に云はば復活せられたる保育思想）に因つて現在の窮屈極まる型式的皮想的保育思想より脱出して大に發展主義精力主義の練磨的教育を實現して從來の文弱的教育の流弊より脱出し様と思ふのである。吾人は之に關して茲に自分の意見を陳述したいのであるが紙面に限りわつて到底盡くすことは出來ないから一切省くと仕様。若し篤志の人あり吾人と意を同ふせらるゝ方ならば希くば拙著幼兒教育法を讀破せられんことを。以上述ふる所に因つて近藤氏の質問は略盡きたと

思ふから次に寄せられたる幼児の成績表に關して一二卑見を述べて見よう。

先づ第一に此表を見て不審に堪えぬは前に掲げた近藤氏の手簡中の文句と一致せざる所あることである。同氏の手簡に因れば操行及學業に於て勝れたるもの比較的少しと云ふことであるが、今表に就いて尋一の成績を調査して見るに操行に於ては全幼兒二百四十人中六十五人は優等者で學業に於ては七十七人が優等者である。共に幼稚園出身者の三分の一は優等者となる譯であるから比較的少ない處ではなく却つて多い譯であるが同氏果して何に比較して少ないと云はれたのか一寸判らぬ所である。それから表には小學校の上級迄の成績が悉く載せてあるが是は別段必要はないと思ふ。幼稚園出身者の成績調査は尋常一年の第一期殊に大切なのでそれから漸次兩者（幼稚園出身者と家庭出身者）の差は相殺せらるゝから調査しても充分のことは判らぬに違ひない。何故と云ふに現在の小學校の教授法は全級兒童を平均にし一齋にすることに多大の力を注いで居つて會不平均が

あれば苦心しても之を矯めつゝあるのが一般であるから始めに於てこそ差違はあれ漸次上級に進むに従つて其差は消滅するものと云はねばならぬからである。好し又上級に於て大なる差を表はすこととあつたにせよ其差が全然幼稚園教育の結果であると云ふことは出来ないから兎に角斯く上級迄調べずとも夫れよりもつと尋一丈けに就いて詳細な調査をしたら何うかと思ふ。

女子高等師範の生徒募集

東京女子高等師範學校にては明年一月より入學せしむ可き保育實習科生徒約八名を募集する由にて本月一二三日の官報にて發表せり。

願出は來る十一月末迄に差出す可く入學試験は來る十二月七日八日の兩日に執行せらるゝ由、又入學試験科目は左の通りの由。

- 國語（解釋）
- 同（作文）
- 圖畫（略畫）
- 音樂（單音）
- 同（唱歌）
- 同（樂器）
- 試問（口頭）